



室谷邸記念館 床タイル

美しい軽井沢の原風景から建物に入ると「私の睡鳩荘物語」の始まり。ヴォーリスが図面を描き始めた日から今日まで、長い歴史を語り掛ける重厚な建築と数々の調度品。想像と現実を紡ぐ空間で、過去に制作した代表作品と新作合わせて約 100 点の陶芸展覧会を開催いたします。物語を構成する新作陶芸はどれも、各部屋の現実の環境の中で作品を構想しました。建築を含めたランドスケープに関係する多くの構成要素との対話を通してデザインを実践し、制作しています。大きな器、大きなオブジェ、小さな器、小さなオブジェ。数々の立体作品が彩る睡鳩荘のお部屋が、ページをめくるように展開していきます。早秋の湖畔に佇む素敵で心豊かな空間で、どうぞお過ごしください。

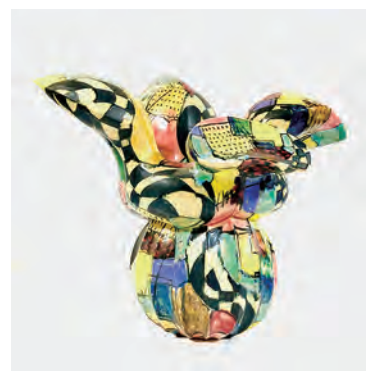


ヴォーリス六甲山荘 アジサイ



角倉起美 SUMIKURA KAZUMI

大阪生まれ。工芸家。六甲山のアトリエにて陶芸作品を制作。2003 年より関東・関西で陶芸作品による個展・グループ展を多数開催。現在、大阪芸術大学大学院芸術研究科環境・建築領域博士後期課程修了のち大阪芸術大学大学院芸術研究科助手。2016 年よりヴォーリス六甲山荘で文化財建造物の保存活動に携わり、工藝的アプローチによる関係性のデザイン理論の研究を試みている。文化財活用手段の一つとして 2017 年「Sumikura Kazumi Ceramic Exhibition」ヴォーリス六甲山荘で個展を開催。2018 年から山荘を中心とした周辺地活用による環境整備プロジェクトに携わる。2020 年「ヴォーリス記念きょうだいの森」で公園の設計・施工に協働。2021 年「室谷邸記念館」(門廊再建プロジェクト)では部材復元・設計・制作に共創。工藝的アプローチとして工芸作品を建築を含むランドスケープに組み込む新たなランドスケープデザインの世界を展開。



器 7 D43×W43×H50 (cm)



旧朝吹山荘「睡鳩荘」 国登録有形文化財

旧朝吹家別荘「睡鳩荘」は、実業家朝吹常吉が 1931 (昭和 6) 年、旧軽井沢に建てた別荘で、大正から昭和初期に数々の別荘を設計したヴォーリス建築事務所の代表作のひとつ。フランソワーズ・サガンの翻訳で知られる常吉の長女朝吹登子子は、軽井沢にあるこの別荘を心から愛し続けた。ボーヴォワールやサルトルと親交があった彼女は、日本とフランス、二つの国で生きたかけがえのない豊かな人生を歩み、そしてそれに寄り添った山荘。女史の没後、軽井沢タリアセンに託され保存活用されている。暖炉やダイニングテーブル、椅子、備え付けの棚、カーテン、窓、ソファアなどの調度品は当時の面影を美しく醸し出している。

旧朝吹山荘 睡鳩荘

会期：2022 年 9 月 17 日 (土) ~ 10 月 10 日 (月) 9:00 ~ 17:00
 会場：旧朝吹山荘「睡鳩荘」(国登録有形文化財)
 料金：軽井沢タリアセン入園料大人 800 円 小中学生 400 円 +
 睡鳩荘入館料大人 200 円 小中学生 100 円

軽井沢タリアセン



入館にはマスクが必要です。館内多数の場合入館制限を致しますのでご了承ください。感染症等により催し内容を変更する場合がありますので予めご了承ください。

【お問い合わせ】 TEL 0267-46-6161 (代) FAX 0267-45-3663 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 217 軽井沢タリアセン内

